

12歳でゲルギエフと共演。
感性、歌心、技術の全てに恵まれた稀有な存在。

J.S.バッハ…イタリア協奏曲 へ長調 BWV971

ショパン…子守歌 変ニ長調 作品57

ショパン…バラード 第2番 へ長調 作品38

スクリャービン…2つの詩曲 作品32

スクリャービン…ワルツ 変イ長調 作品38

ショパン…24の前奏曲 作品28

※都合により曲目・曲順等内容の一部が変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

奥井紫麻

SHIO OKUI PIANO RECITAL

ピアノ・リサイタル

2019.1.19土 2:00PM (1:30PM開場)
京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ

京都市左京区下鴨半木町1-26 <https://www.kyotoconcerthall.org/> ●地下鉄烏丸線「北山」駅下車、③・①出口から南へ徒歩約5分

主催: otonowa 共催: 京都コンサートホール (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) / 京都市

全席指定(税込) 一般¥3,000 / U18 (公演時18歳まで) ¥1,500 ※未就学児童の同伴・入場はお断りします

※U18券をお持ちのお客様は、公演当日、年齢確認ができる身分証明書をご提示頂く場合があります

◎2018.8.3(金) 10:00発売 ※高島屋京都店、otonowaではU18券の取扱いはありません

●京都コンサートホール 075-711-3231 ●チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:123-733]

●ローソンチケット 0570-00-0407 [Lコード:52875] ●CNプレイガイド 0570-08-9990

●イープラス <http://eplus.jp/otonowa/> ●ロームシアター京都 075-746-3201

●高島屋京都店7Fチケットショップ ※店頭販売のみ

●otonowa 075-252-8255 ※電話予約のみ

郵便振替口座:00960-8-322727 加入者名: オトノワ

お問合せ

otonowa

075-252-8255

10:00AM-6:30PM

※日曜・祝日休み 土曜不定休

otonowa

www.otonowa.co.jp

奥井紫麻

SHIO OKUI PIANO RECITAL

ピアノ・リサイタル



2013年 8歳 キエフ(ウクライナ)にてプロのオーケストラと初めての共演



2014年 10歳 イルクーツク(ロシア)の音楽祭にて



2016年 12歳 イルクーツク(ロシア)の音楽祭にて



2016年 12歳 ウラジオストク(ロシア) 終演後、指揮者ゲルギエフ氏と

© Takahiro WATANABE



天賦の才を授かった14歳のピアニスト。

ロシアにおける最高峰の音楽教育機関として知られ、ピアニストでは、かのエフゲニー・キーシンのように「歌うように奏でる」事。年齢からは想像できない卓越した技術と表現力を基に、何より演奏する喜びに満ち溢れた彼女の音楽は、聴く者を幸福感に包み、魅了します。

日本であれば中学2年生にあたる奥井紫麻は、現在母校でリフシツ、コプリン、トリフォノフら世界的ピアニストを育てた名教師タチアナ・ゼリクマンに師事、日々研鑽を積む傍ら、コンクールや演奏活動にも精力的に取り組んでいます。

彼女が目指すは、旋律を豊かに歌わせる伝統的なロシア・ピアニズムを会得し、尊敬する先輩キーシンのように「歌うように奏でる」事。年齢からは想像できない卓越した技術と表現力を基に、何より演奏する喜びに満ち溢れた彼女の音楽は、聴く者を幸福感に包み、魅了します。

初となる京都公演のプログラムは音楽の父バッハと、そのバッハの書法に学び、敬意を表して「24の前奏曲」を書き上げたショパン、また初期においては「ロシアのショパン」と称される程ショパンに強い影響を受けたロシアの作曲家スクリャービン。国と時代は異なれど、脈々と受け継がれる偉大な作曲家の系譜による名曲の数々をお楽しみ頂きます。

日本に生まれ、ロシアで学び、世界へ羽ばたく未来の利器。今の彼女にしか表現できない、瑞々しいピアノの一音一音をぜひご体感ください。

奥井紫麻(ピアノ) Shio Okui, Piano

2004年5月生まれ。7歳より故エレナ・アシュケナージに師事。2017年9月よりチャイコフスキー記念ロシア国立モスクワ音楽院附属中央音楽学校で学び、2018年よりグネーシン特別音楽学校へ編入。タチアナ・ゼリクマンに師事。ウラディーミル・スピヴァコフ国際慈善基金奨学生。

5歳半でピアノを始め、8歳でオーケストラと初共演。12歳で世界的指揮者ワレリー・ゲルギエフ指揮マリンスキー歌劇場管弦楽団と共演。ロシアを代表する指揮者・ヴァイオリニストのウラディーミル・スピヴァコフとも10歳の頃から度々共演を重ねており、第13回スピヴァコフ国際慈善基金主催フェスティバル「Moscow Meets Friends」では、グランドオープニング・セレモニーのソリストに選ばれ、スピヴァコフ指揮モスクワ・ヴィルトージとフェスティバルの開幕を飾った。9歳から国外での音楽祭に招かれ、ロシア、イギリス、スイス、イタリア、ポーランド、ウクライナ、ラトビア、アルメニア等でのコンサートに出演、各地のオーケストラとも多数共演している。

2016年5月にはデニス・マツェフが発起人となってモスクワで開催された順位付けを行わないユニークなコンクール「GRAND PIANO COMPETITION」で、最年少で7名の受賞者の1人に選ばれ、モスクワ音楽院大ホールで演奏。その様子はMedici.tvで中継され、演奏を聴いたエフゲニー・キーシンは「この年齢でこれほどまでに音楽を理解して感じる事ができ、楽器を自由に操ることができるとは、ただただ驚いた。」と評された(出典:Classical Music News/Russia)。これまでに第1回ウラディーミル・クライネフモスクワ国際ピアノコンクール(2015年モスクワ/ジュニア部門最年少第1位)、第14回ロシア国営文化テレビ主催「若い音楽家のための国際TVコンテスト“くるみ割り人形”」(2013年モスクワ/ピアノ部門第2位及び全部門総合聴衆賞)、第10回ウラディーミル・ホロヴィッツ記念国際ピアノコンクール「Horowitz-Debut」部門(2013年キエフ/A及びDカテゴリー第1位及びウクライナ文化省特別賞)等で入賞している。